

# JSSSF NEWS

Japan Securities Scholarship Foundation



第43号

公益財団法人 日本証券奨学財団

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館3階

URL <https://jssf.or.jp> TEL 03-3664-7113 E-mail [jssf.office@jssf.or.jp](mailto:jssf.office@jssf.or.jp)

## 2025年度(第52回) 奨学生懇談会

2025年10月25日(土) ロイヤルパークホテル



2025年10月25日(土) 東京都中央区日本橋蛸殻町のロイヤルパークホテルにおいて、2025年度奨学生懇談会が開催されました。この懇談会には推薦大学関係者22名、奨学生134名、財団関係者13名、奨学生修了者47名の総勢216名の皆様にご参加いただきました。

### 本号の主な内容

- |                 |   |                         |    |
|-----------------|---|-------------------------|----|
| ●2025年度奨学生懇談会開催 | 1 | ●2025年度証券奨学同友会総会・懇親会    | 8  |
| ●2025年度奨学金授与式開催 | 4 | ●証券奨学同友会の活動             | 9  |
| ●2025年度奨学生修了式開催 | 5 | ●2025年度研究調査・研究出版助成金 贈呈式 | 10 |
| ●2025年度証券奨学生の集い | 6 | ●寄附者御芳名/感謝状の贈呈/事務局だより   | 12 |

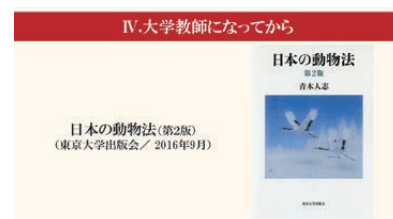
# 奨学生懇談会 講演会



## テーマ 「大学教師生活の終了間近に考えること—現役奨学生へのメッセージ」

2025年10月25日(土)、ロイヤルパークホテル(東京都中央区日本橋蛸殻町)において、2025年度奨学生懇談会を開催いたしました。本年度は、一橋大学特任教授の青木人志先生を講師にお迎えし、「大学教師生活の終了間近に考えること—現役奨学生へのメッセージ」をテーマにご講演いただきました。

目次
I. 故郷と高校時代
II. 学部生時代—友人たち
III. 大学院生時代
IV. 大学教師になってから
V. 日本証券奨学財団との関わり
VI. 後悔と満足と感謝



昨年3月に定年を迎えられ、現在は特任教授として教壇に立たれる青木先生は、長年にわたり教育・研究・学内運営に携わってこられ、その豊富なご経験をもとに、大学教師としての歩みの中で考えてこられたことや、学びと進路についての示唆に富んだお話を、ご自身の青春時代の思い出も交えながら語られました。

また、青木先生は本財団の元奨学生であり、証券奨学同友会の代表幹事及び関東地区幹事としてもご尽力をいただきました。講演では、元奨学生としての視点から現役奨学生に向けた温かいメッセージも示され、参加者にとって自らの将来や学びを見つめ直す貴重な機会となりました。



# 奨学生懇談会 懇親会

講演終了後の懇親会では、現役奨学生、奨学生修了者及び財団関係者並びに大学関係者の方々が一堂に会し、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。世代を超えた交流を通じて、それぞれの経験や思いを共有する有意義なひとときとなり、盛況のうちに終了いたしました。ご参加いただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも本財団の活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



挨拶をする新芝理事長

— 次 第 —

■ 開 会

● 講演会 15:00 ~ 16:00

一. 挨拶  
理 事 長 新 芝 宏 之

一. 講 演  
大学教師生活の終了間近に考えること  
— 現役奨学生へのメッセージ —  
一 橋 大 学 青 木 人 志  
特 任 教 授  
(証券奨学同友会 前代表幹事)

● 懇親会 16:00 ~ 18:00 (敬称略)

■ 閉 会

以 上



乾杯のご発声をする藤田理事



# 2025年度(第52回) 奨学金授与式

2025年7月11日(金) 如水会館

2025年度奨学金授与式は、2025年7月11日(金)午後3時から東京都千代田区一ツ橋の如水会館において、採用奨学生のほか、大学関係者の皆様、役員、評議員をはじめとした本財団関係者の皆様のご出席のもと開催いたしました。

本年度の奨学金授与式は1974年度の第1回から数えて52回目となり、本年度採用の奨学生57名を含めた奨学生の総数は4,221名に達しています。



挨拶をする新芝理事長



挨拶をする藤原委員長



懇親会で乾杯のご発声をする豊田委員



祝辞を述べる早稲田大学 藤田理事



次 第	
■ 開 式	
一. 挨拶	
理 事 長	新 芝 宏 之
一. 挨拶	
理 事 長	藤 原 誠
奨学生選考委員長	
一. 奨学生証書授与	
一. 祝 辞	
早 稲 田 大 学 理 事	藤 原 誠
一. 謝 辞	
奨 学 生 代 表	大 庭 マ リ ア 鈴 音
東 京 科 学 大 学 大 院 博 士 課 程	(敬称略)
■ 閉 式	以 上

## 2025年度大学別採用者数

大学名	採用
北 海 道 大 学	0
東 北 大 学	2
新 潟 大 学	2
筑 波 大 学	3
お 茶 の 水 女 子 大 学	1
東 京 大 学	2
東 京 科 学 大 学	2
一 橋 大 学	2
東 京 都 立 大 学	2
慶 應 義 塾 大 学	1
上 智 大 学	2
中 央 大 学	1
日 本 大 学	2
法 政 大 学	3
明 治 大 学	2

大学名	採用
立 教 大 学	1
早 稲 田 大 学	3
横 浜 国 立 大 学	2
名 古 屋 大 学	1
名 古 屋 市 立 大 学	1
京 都 大 学	3
同 志 社 大 学	1
立 命 館 大 学	2
大 阪 大 学	3
大 阪 公 立 大 学	2
関 西 大 学	2
神 戸 大 学	2
関 西 学 院 大 学	2
広 島 大 学	3
九 州 大 学	2
総 合 計	57

**2025年度  
(第51回)**

# 奨学生修了式

2026年3月5日(木)  
如水会館

2025年度奨学生修了式は、2026年3月5日(木) 午後3時から東京都千代田区一ツ橋の如水会館において、奨学生修了者のほか、大学関係者の皆様、役員、評議員をはじめとした本財団関係者の皆様のご出席のもと開催いたしました。

本年度の奨学生修了式は1976年度の第1回から数えて51回目となり、本年度の奨学生修了者71名を含めた奨学生修了者の総数は4,089名に達しています。



挨拶をする新芝理事長



挨拶をする藤原委員長



懇親会で乾杯のご発声をする廣瀬委員



祝辞を述べる名古屋大学 佐久間副総長

## 2025年度大学別修了者数

大学名	修了	大学名	修了
北海道大学	1	立教大学	4
東北大学	3	早稲田大学	4
新潟大学	2	横浜国立大学	0
筑波大学	4	名古屋大学	4
お茶の水女子大学	2	名古屋市立大学	1
東京大学	2	京都大学	1
東京科学大学	3	同志社大学	0
一橋大学	1	立命館大学	2
東京都立大学	2	大阪大学	4
慶應義塾大学	1	大阪公立大学	2
上智大学	5	関西大学	4
中央大学	2	神戸大学	3
日本大学	1	関西学院大学	3
法政大学	1	広島大学	3
明治大学	3	九州大学	3
		総合計	71



## 2025年度奨学生修了者の就職・進学状況

区分	大学院生		大学生	合計
	博士課程	修士課程		
	名	名	名	名
1. 就職	1	28	22	51
内訳	一般企業 その他	26	19	45
	大学等 研究機関	1		1
	公務員	2	3	5
2. 進学		3	10	13
3. 在学				
4. その他		4	3	7
計	1	35	35	71

次 第	
■ 開 式	
一. 挨拶	理 事 長 新 芝 宏 之
一. 挨拶	理 事 長 藤 原 誠
一. 奨学生修了証書及び記念品授与	奨学生選考委員長 藤原 誠
一. 祝 辞	名 古 屋 大 学 副 総 長 佐 久 間 淳 一
一. 祝 辞	証 券 奨 学 同 友 会 代 表 幹 事 高 田 と し 子
一. 謝 辞	奨 学 生 代 表 名 古 屋 大 学 大 学 院 博 士 課 程 遠 山 祥 史 (敬称略)
■ 閉 式	以 上



# 2025年度 証券奨学生の集い

2025年度は指定大学11校の「証券奨学生の集い」を開催いたしました。各大学の現役奨学生を中心に同友会員(OB・OG)、奨学金ご担当者様にも参加いただき、交流や親睦が図られました。

## 東京科学大学 (2025年10月3日)



[会場] ブルーターミナルザレストラン  
参加者20名(奨学生4名・同友会員9名・大学4名・財団3名)

## 日本大学 (2025年10月10日)



[会場] アルカディア市ヶ谷  
参加者13名(奨学生3名・同友会員3名・大学4名・財団3名)

## 京都大学 (2025年11月6日)



[会場] 京懐石美濃吉京都新阪急ホテル店  
参加者10名(奨学生4名・同友会員3名・大学1名・財団2名)

## 同志社大学 (2025年11月7日)



[会場] french restaurant will 寒梅館7階  
参加者13名(奨学生2名・同友会員5名・大学4名・財団2名)

## 横浜国立大学 (2025年11月13日)



[会場] 崎陽軒 横浜本店  
参加者11名(奨学生2名・同友会員1名・大学5名・財団3名)

## 東北大学 (2025年11月21日)



[会場] 伊達なおもてなし DUCCA仙台駅前  
参加者10名(奨学生4名・同友会員4名・財団2名)

### 筑波大学 (2025年11月28日)



【会場】 ホテルグランド東雲  
参加者15名 (奨学生7名・同友会員2名・大学3名・財団3名)

### 広島大学 (2025年12月5日)



【会場】 憩いの料亭 白竜湖  
参加者11名 (奨学生4名・同友会員2名・大学3名・財団2名)

### 立教大学 (2025年12月9日)



【会場】 池袋キャンパス第一食堂「藤だな」  
参加者17名 (奨学生3名・同友会員8名・大学3名・財団3名)

### 明治大学 (2025年12月17日)



【会場】 アルカディア市ヶ谷  
参加者17名 (奨学生4名・同友会員6名・大学4名・財団3名)

### 上智大学 (2026年1月29日)



【会場】 オー バカナル 紀尾井町  
参加者17名 (奨学生7名・同友会員3名・大学4名・財団3名)

### 便利なBAND登録のご案内

奨学金の入金のお知らせやホームページの更新、提出物の締切などを、月1回ほどBANDで発信しています。成績表や近況報告の提出を忘れがちの方は、登録して通知をONにすると安心です。

登録は下記QRコードからどうぞ。



## 証券奨学同友会総会・懇親会

証券奨学同友会総会・懇親会は、奨学生修了者である会員の皆様の親睦を深める場であり、同友会活動の一環として実施しております。

2025年度は、関西地区では5月24日(土)に大阪市中央区今橋の「和食 うおまん 淀屋橋odona店」にて、関東地区では6月7日(土)に東京都中央区日本橋の「アンティークピアバル うすけほー 昭和通り日本橋店」にて、それぞれ正午より開催されました。

両地区での総会・懇親会では、参加者同士が再会を喜び合い、和やかな雰囲気の中で交流が進められました。

また、事前に会員から寄せられた「近況のお知らせ」を冊子化し、参加者の皆さんに閲覧していただきました。

次回の総会・懇親会にも、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

### 関西地区 総会・懇親会



### 関東地区 総会・懇親会



# 証券奨学同友会の活動

本財団の奨学生修了者で組織する「証券奨学同友会」は、会員相互の交流・親睦をはかることを目的に活動しております。



本会報は、公益財団法人日本証券奨学財団の奨学生修了者で組織する証券奨学同友会が発行するものである。

証券奨学同友会は、1977年3月に会員相互の親睦と協調をはかることを目的として発足した。その主な事業は、会員相互の親睦交流、会報の発行及び関東地区と関西地区の総会開催である。2025年4月1日現在の会員数4,000名余となっている。

## 主な内容

- 会員からの寄稿
  - 未上場株式に特化した証券会社設立の挑戦…………… 加納 拓也
  - ちょっぴり内気な息子の、
  - アメリカでの英語習得について…………… 佐藤(斉藤) 千紘
  - 京都にて、留学生と河川工学に揉まれる
  - 大学院生活で感じたこと…………… 山井 美季
  - 誰の道歩いているのか
  - 「完璧さ」と距離を置いて「ときめき」を追いかける …… 森本 珠梨
  - しあわせとはなんだろう
  - ～生活保護ケースワーカーのつぶやき～…………… 石濱 知子
  - がんのない世界を目指して…………… 中村 陸人
  - 教員生活を振り返って…………… 比嘉 亜澄
  - そのままの自分で生きる…………… 本間 美羽
  - 交換留学を経て…………… 結城 麗加
- 奨学生修了にあたって(寄稿) 2025年度新入会員
- 2025年度活動報告
- 2025年度新入会員について 大学別内訳／進路の状況／幹事名簿
- 編集後記

## 証券奨学同友会の活動を発信する「同友会情報」のご案内

財団では、ホームページ内の「奨学生・OB・OG専用サイト」に「同友会情報」のコーナーを設置しています。「同友会情報」では、証券奨学同友会の活動に関する最新情報を会員の皆様に向けて発信しており、各種イベントの開催案内や報告、会報等の配布資料のダウンロードが可能です。

### 主な掲載内容

- 同友会総会
  - 開催のお知らせを掲載し、開催後には結果報告を掲載しています。
- 奨学生懇談会
  - 開催のお知らせを掲載し、開催後には「授与式・修了式・懇談会」に結果報告を掲載しています。
- 奨学生修了にあたって
  - 新たに会員となられた方々による寄稿文を掲載しています。
- 近況のお知らせ
  - 同友会員の皆様からお送りいただいた「近況のお知らせ」を掲載しています。
- 証券奨学同友会報
  - 最新号をPDF形式で閲覧いただけます。
- 証券奨学同友会報のバックナンバー／同友会会則／登録事項の変更届(様式)
  - ダウンロードできます。

※ご注意:「奨学生・OB・OG専用サイト」の閲覧にはIDとパスワードが必要です。  
ID・パスワードをお忘れの方は、大学名とお名前を記載の上、以下のアドレスまでメールにてお問い合わせください。  
[jssf.office@jssf.or.jp](mailto:jssf.office@jssf.or.jp)

※「同友会情報」では、同友会の活動や会員向け情報を随時更新しておりますので、ぜひご活用ください。

2025年度

# 研究調査助成金・研究出版助成金 贈呈式開催

2025年11月18日(火) 株式会社岡三証券グループ



2025年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、2025年11月18日午後2時30分から株式会社岡三証券グループにおいて、助成金受給者をはじめ、財団役員、研究調査助成選定委員の皆様のご出席のもと開催いたしました。

同贈呈式では、新芝宏之理事長、研究調査助成選定委員会の北川哲雄委員長による挨拶の後、出席した受給者から挨拶とともに研究の概要報告が述べられました。

その後の懇親会では、研究者と財団役員、委員との交流が和やかに行われました。



北川哲雄理事・委員長



新芝理事長

次 第	
■ 開 式	
一. 挨拶	理 事 長 新 芝 宏 之
一. 挨拶	理 事 長 北 川 哲 雄 研究調査助成選定委員 委 員 長
一. 助成金受給者挨拶	
	研究調査助成金受給者
	研究出版助成金受給者
	(敬称略)
■ 閉 式	
	以 上



懇親会で乾杯のご発声をする  
柿崎委員



## 研究調査助成金・研究出版助成金受給者

2025年度の研究調査助成金・研究出版助成金受給者は次のとおりです。

### ◇2025年度研究調査助成

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額(万円)
関西学院大学 経済学部 小川 禎友 教授	女性のライフコース選好と家庭における性別的役割に対する検証	グループ	98
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 鈴木 綾 教授	電気へのアクセスが住民の経済活動に与えるインパクト評価：タンザニア・ソーラーランタン事業の事例	グループ	100
青山学院大学 経営学部 服部 圭介 教授	組織におけるリーダーの寛大な報酬配分の効果：配分権限とメンバー特性が努力誘因に与える影響	グループ	100
東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 村山 陽 研究員(専門副部長)	単身中高年者の生活困窮予防に向けた金融リテラシープログラムの開発：2040年問題を見据えて	グループ	100
一橋大学 経営管理研究科 安田 行宏 教授	スタートアップの資金調達とIPO後の成長戦略：ベンチャーキャピタルのタイプ・投資タイミングの効果に関する検証	グループ	100
名古屋大学大学院 経済学研究科 柳瀬 明彦 教授	グローバル経済における戦略的インフラ整備と制度設計：基礎理論の構築とその応用	グループ	100
6件		598万円	

(五十音順・敬称略)

財団ホームページに受給研究の概要を掲載しております。

▶ <https://jssf.or.jp/info.html>

### ◇2025年度研究出版助成

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(万円)
大東文化大学 法学部・法学研究科 王 学士 教授	サイバー保険の理論的基礎とその展開	単著	100
東洋大学 経営学部 木村 裕斗 教授	グループ・クリエイティビティ—個人と集団のインタラクションが生み出す変革—	単著	100
山形大学 大学院 佐藤 豊 教授	動的な著作権の制限規定—オーストラリア著作権法からの示唆	単著	100
東京大学大学院 総合文化研究科 新谷 里美 教授	間接採用の法理—国際投資法上の補償基盤	単著	100
亜細亜大学 経営学部 鈴木 智大 教授	経営者による業績予想の開示戦略	単著	100
横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 関根 豪政 教授	政府調達の国際規制	単著	100
北海道大学大学院 経済学研究科 深山 誠也 教授	高齢者介護組織の経営—資源、活動、価値基準のパッケージ—	単著	100
東京大学 先端科学技術研究センター 森 晶子 特任助教授	先端教育共創の実践と展望	単著	100
立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 梁 最宇 教授	内部監査の機能と成果—コーポレートガバナンスからの考察—	単著	100
9件		900万円	

(注) 本表は辞退者を除いている。

(五十音順・敬称略)

## 研究調査助成 研究出版助成 募集要項

2026年度の研究調査助成、研究出版助成の募集を行っております。

(申請期間：2026年4月1日から6月30日(必着) まで)

※ 詳細は本財団ホームページをご覧ください。

▶ <https://jssf.or.jp/researchgrant.html>

▶ <https://jssf.or.jp/researchpublication.html>

## 寄附者御芳名(2025年4月～2026年3月)

次の皆様からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

寄附年月日	御芳名	区分	金額(円)	御趣旨
2025年5月13日	匿名	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2025年5月24日	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2025年5月30日	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2025年6月26日	山崎 貴博 様	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2025年9月25日	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2025年10月25日	橋本 彩 様	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2025年11月13日	匿名	個人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2025年12月12日	岡地 敏則 様	個人	1,000,000	叙勲を記念して本財団の奨学事業支援のため
2026年3月5日	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2026年3月12日	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2026年3月13日	石田 洋一・朋代 様	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2026年3月18日	匿名	法人	15,485	財団の奨学事業支援のため

★これまでに掲載したご寄附については、財団ホームページの「寄附者一覧」に掲載しております。

## 感謝状の贈呈



2025年12月12日 **岡地敏則**様(本財団評議員、元理事、岡地証券株式会社 取締役会長)から「叙勲を記念して本財団の奨学事業支援のため」とのご趣旨でご寄附を賜りました。本財団では岡地様に感謝状(記念の楯)を贈呈いたしました。

## 事務局だより

■今春、財団では大きな変化がありました。社会状況の変化に対応し、奨学生の皆さんがより安心して学業に専念できるようにとついに奨学金増額が実現しました。

奨学金制度の見直しについては、かねてより委員の先生方が審議を重ねられてきましたが、2026年度募集より改訂されました。これは事務局としても、大変喜ばしい出来事です。

そして、もう一つ財団事務局にとって節目となる出来事があります。

それは長年にわたり財団を支えてこられたI原さんが退職されることです。I原さんは、研究助成事業をはじめとする多くの業務に携わり、財団の運営を陰で支えてくださいました。

この記事を書いている3月現在、I原さんからの引き継ぎを受けながら改めて感じているのは、長年の経験に基づいて「自然にできている業務」がいかに多いかということ。I原さんは35年間、財団に勤務されました。日々当たり前に行われていた業務も、いざ整理しながらマニュアル化するとすると意外と難しく、I原さんのこれまで積み上げてこられた知識や経験の“年輪”をずっと実感しております。これから新しい分野にチャレンジするI原さんへ。職員一同エールを送っています。

これまで本当にありがとうございました。お疲れ様でした！